

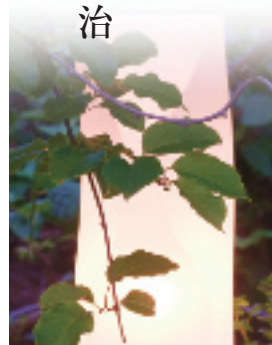
特集

アイデアで挑む 未来の農林漁業



無事は迷馬

中村 顕治



今 年から介護保険料を払う身となった。年額で五万円ちょっと。そうかまた出費が増えるかあ、という経済意識もあるが、それより、そんなトシになつてしまったかあという思いの方が、役所からの通知を受け取った時には強かった。五反の畑と平屋の小さな家を買つてここに移り住んだのは三十七歳だった。気がついたら介護保険料を納めるトシになっていた。「還暦」は無意識に通り過ぎたが介護保険は妙にインパクトが強い。「介護」の二文字のせいだ。



百姓暮らしは健康が必須。スコップと鍬だけで全てを行う前近代的な農法をなす僕の場合はそうである。指一本の怪我とて、たちまちにして作業能率を低下させる。まして、どこか臓器に疾患が生じ、重い物も担げなくなったらアウトだ。

世に「愛車」という言葉がある。告白すれば、免許取得二十五年、僕はま



だ洗車やワックス掛けをしたことがない。ホンダの車は仕事場を兼ねる。チャボは出入り自由で卵を産む。時には糞を落とす。よって臭い(らしい)。

おなごを駅まで迎えに行くはずと息を止めている。憤激ならぬ糞激で、助手席では半分腰を浮かせている。うちに到着する頃の彼女はヨレヨレだ。男の僕にヨレヨレなら嬉しいが、ずっと息を止めていたゆえの酸欠状態でヨレヨレ。熱い吐息も聞こえる。

僕には車への愛が欠けている。よつて「哀車」か。でも自分のメンテナ

ンスはする。毎朝ランニングする。サイクリングもする。我が体のオイルチェックやタイヤ点検を欠かさない。自己愛? そう人は問う。そうであるならば愛車じゃなく「愛人」ということになりますね? いや、いくらなんでも愛人はない。自己愛と言うより自己責任ですネ……。

この原稿は五月半ばに書いている。その今が、おそらく一年で最も快適で

ある。空気の爽やかさだけなら秋にもある。しかし、萌え盛る青葉に包まれ、果樹も野菜も、燦々たる光に包まれ、これから実りの時に向かうのだという期待感、それが僕の意識の中で五月という月を一年の横綱とする。

「君は五月の薔薇」という恋唄が昔あった。薔薇に限らず、我が五月の風景に僕は熱い恋情を抱く、その恋情が最近、強くなった。トラック競技なら第四コーナを曲がるどころ、マラソンなら三十五キロ地点を過ぎたあたりオレの人生はある——そんな想いがジワリ生じてきたせいか。そして、咲き誇る薔薇を見てこつとも思う。この先、なるべく長く、この風景を楽しめるよう努力しなくちゃ。

介護保険料はどのように算定されるのか。自治体によってかなりの違いがあるのはなぜか。事情は単純らしい。介護施設を利用する要介護者が多ければ保険料は高くなる。ゆえに国は施設入居でなく在宅介護を推奨する。また自治体は「保険に頼らないためにも、いつまでも強い体でいてもらうことが一番」と、高齢者



向けの運動教室を開くところもあるらしい。

高齢者はこの先どんどん増える。保険財政は逼迫す

るという。ならば、せめて、こつらで世のお役に立ちたい。会社員としても農業者としても、僕はずっと駄馬だった。名馬には遠かった。それでも歯科以外で健康保険証を使ったことがないのはほめてもよい。か。「悔悟」多きこれまでだったが、介護で人の手を煩わせたことはない。

労働すれば筋肉が出来る、と同時に腹が減る。減った腹は我が作物で満たす。作物で得たエネルギーをまた労働に使う。名付けて「循環型持続可能性型職業」。百姓稼業はもしかしたら介護に一番遠いかもしれない僕は期待するのである。

最近雑誌の取材があり、インタビューを受けた。僕はこう口にした。有機農法とか自然農法とかの実践者は健康でなくてはいけないと思うのです……健康を売りものにする生産者が健康でなかったら言行不一致だと僕は考えるのである。

【なかむら・けんじ】昭和22年山口県生まれ。33歳で築50年の農家跡に移住。現在は千葉県八街市在住。典型的な多品種少量栽培を実践。チャボを庭に放任飼育する。ブログ「食うために生きる―脱サラ百姓日記」
<http://blogs.yahoo.co.jp/tamakenji1946>

02 農園歳時記 第19回 無事は迷馬 中村顕治
林業就業支援講習 全国森林組合連合会
03 特集 **アイデアで挑む 未来の農林漁業**

- 04 農ライフ CSAで農業ビジネスが成立！ みんなの「なないろ畑」農場
神奈川県大和市 農業生産法人・なないろ畑株式会社 代表 片柳義春さん
- 06 森ライフ 自立した子を育む自然の教育力を信じて「森のようちえん」を開設 **表紙**
鳥取県智頭町 NPO法人・智頭町森のようちえん まるたんぼう 代表 西村早栄子さん
- 08 漁ライフ 漁師の合同会社OHガッツ設立 見つめるのは漁業の未来
宮城県石巻市雄勝町 合同会社OHガッツ 代表 伊藤浩光さん
- 15 受けよう！ 農検
16 IJUターン農林漁業就業相談窓口
20 情報収集と相談がはじめの一步！ 就農に近づく新・農業人フェア

広告

- 10 鳥取県立農業大学校
11 新潟県農林公社／長野県飯田市
12 新潟県佐渡市／茨城県農林振興公社／北海道農業公社
13 長野県長野市／北海道占冠村／北海道湧別町／北海道幕別町
14 高知県立農業大学校

iju info (イジュインフォ)

●配布場所

都道府県農業会議、青年農業者等育成センター、林業労働力確保支援センター、漁業就業者確保育成センター、ハローワーク、ジョブカフェ、農林漁業関係学校、図書館、東京都内の駅の一部など全国4,000カ所

IJU

検索

雑誌オンライン

検索



森林の仕事に就く 第一歩はここから 林業就業支援講習

林業就業支援講習

検索

林業に就くために必要な知識・技術を学ぶ約20日間の講習を全国で開催！

林業就業支援講習は、林業への就業意思がある人を対象に実施する約20日間の講習だ。講習では、林業に関する座学や、仕事現場となる林内で行う本格的な実地研修、就業相談などを行う。講習修了後は、林業では必須のチェーンソーと刈払機の資格が取得できる。また、近年注目されている林業の機械化に対応するため、林内作業車や小型車両系建設機械の資格もあわせて取ることができる。受講料は無料で、1日上限4200円の宿泊補助もある。

林業に就くには？ 林業就業フロー



※労確センター：林業労働力確保支援センター（19頁参照）

講習の詳細は

N.W.森林（もり）いきいき PC・携帯
<http://www.nw-mori.or.jp/>
<http://www.nw-mori.or.jp/mbf/>

N.W.森林いきいき 検索



ルポ

林業就業支援講習

長野県塩尻市の山中で行われた林業就業支援講習を訪問した時は、午前中が座学で午後からチェーンソーの操作講習が実施された。エンジンスターターのロープを引くところから開始され、次に固定された丸太を輪切りに切っていく。ぎこちない動作ながらベテラン指導員の指導のもとに木材を切る受講者たちの目が輝き出したのが印象的だ。1週間後、あらためて講習に訪問した時は伐木の講習。慣れない手つきで細い丸太を切っていた時とは異なり、堂々とチェーンソーを操る受講者の姿は、森林の仕事への意欲も高まっているようだった。「初めて木を伐り倒しました。興奮しますね」と工事現場で働いていたという20代の男性はいう。林業の仕事はさまざまな道具を使って行われるため、その操作方法や技術、安全への認識や山林の知識が不可欠となる。林業就業支援講習は、こうした林業の仕事を始めるにあたって必要となる基礎知識・技術を習得する場となっている。



林業就業支援講習プログラム

- ◎林業就業にかかる基本的な知識の講習
- ◎林業労働安全衛生講習
- ◎刈払機・チェーンソーの作業講習
- ◎林内作業車を使用する集材作業の講習
- ◎小型車両系建設機械運転業務の講習
- ◎林業作業の実地講習
- ◎林業・木材産業等の施設見学
- ◎就業・生活相談

受講対象者

- ◎45歳未満の林業への就業を希望する人
- ※45歳以上の受講を希望する人は実施団体に相談のこと。

取得できる資格

- ◎刈払機取扱作業者の安全衛生教育の修了証
- ◎伐木等の業務（チェーンソー）の特別教育の修了証
- ◎林内作業車の安全教育の修了証
- ◎小型車両系建設機械の運転業務の特別教育の修了証

●平成24年度 林業就業支援講習実施日程（予定）

北海道	10月～11月	福井県	2月中旬～3月中旬	愛媛県	10月～11月
岩手県	10月～11月	長野県	8月6日～9月7日	福岡県	11月12日～12月10日
宮城県	10月～11月	岐阜県	1月30日～2月27日	熊本県	10月～11月
秋田県	11月	静岡県	9月10日～10月25日	鹿児島県	2月
福島県	1月～2月	大阪府	10月	※本年度終了の都府県：千葉・東京・新潟・山梨・愛知・京都・広島・山口・高知 ※開催の詳細はホームページ「N.W.森林いきいき 森林の仕事ナビ」を参照 ※問い合わせは19頁参照	
茨城県	10月～11月	奈良県	11月～12月		
栃木県	11月	和歌山県	10月～11月		
富山県	2月4日～3月1日	島根県	2月		
石川県	7月～8月	香川県	10月		

特集

アイデアで挑む 未来の 農林漁業



「己の立てるところを深く掘れ。そこには必ず泉あらむ」。明治時代の思想家、高山樗牛（ちよぎゅう）が残した言葉だ。「己の立てるところ」というのは、これまで自分が培ってきた技術や知識や経験、本当に好きなこと、愛する地域のこと。そうした「自分のなかの真実」を追求していくと、やがてはオアシスにたどり着くという意味なのだと思う。

今号では、自分が本当にやりたいこと、すべきだと思ったことを深く追求してオアシスを探り当て、それをスケール大きく育て上げた人たち取材した。農業では、地域のひととの協働による新たな農の仕組み「地域支援型農業」を編み出した片柳義春さんにインタビュー。林業では、森の中で子育てをすることで森に帰ってくる子どもを育てるという願いをこめて設立した「森のようちえん」について、設立者で元林政ウーマンの西村早栄子さんを訪問。漁業では、震災後いち早く被災漁師を束ねて漁師による合同会社「OHガッツ」を設立した伊藤浩光さんに話を聞いた。

この人たちの取り組みは、地域振興モデルを超えて農林漁業の新たなビジネスモデルにもなっている。農林漁業の未来に大きなヒントを与えてくれる、青く輝くオアシスを紹介する。

CSAで農業ビジネスが成立！ みんなの「なないろ畑」農場

神奈川県大和市やまとし 農業生産法人・なないろ畑株式会社

代表 片柳義春さん
かたやなぎよしはる



片柳さん。

「ボランティアをすると、堆肥づくり、作付け、農作業も学べます。野菜の出荷場に集まった人と、調理方法を情報交換できるのも楽しみ」

なないろ畑株式会社のボランティア歴7年の女性が話してくれた。

なないろ畑の野菜の出荷場は、都市近郊の駅から徒歩10分のところにある。出荷日である火曜日、木曜日、土曜日に、なないろ畑の支援者であるボランティアが集まってくる。

ボランティアは、畑から収穫された野菜を、Sパック（2人分・月6千200円）、Mパック（4人分・月8千800円）に



なないろ畑の出荷場にあるファーマーズマーケット。近所の人や定期購入分では足りない会員が買っていく。販売する人はボランティアで、購入者に野菜の調理方法を教えてくれる。



畑で作業していた研修生も加わり、皆でランチを取る。ランチは、野菜の味見を兼ねて、出荷する際に除いた部分、例えばキャベツの表面などを材料として、ボランティア、研修生が調理する。

セットし、イモなどは保冷庫に入れていく。セットされた野菜は、なないろ畑の会員が、週に一度、出荷場まで取りに来る。取りに来れない会員には、宅配される。

農業者、消費者に メリットがあるCSA制度

なないろ畑のようなシステムは、CSAと呼ばれている。CSAとは、Community Supported Agricultureの略で、「地域が支援する農業」と訳される。地域の消費者が、地域の特定農家から、直接、定期購入する仕組みだ。

消費者は、生産現場を見ることができ、自分の目で食の「安全・安心」を確認できる。農場にも遊びにいけるので、子どものいる家庭にとって、食の成り立ち、食の大切さを教えることができる。一方、生産者は、収穫物をすべてパックするので廃棄するものがなく、農家を支援する固定の消費者がいるので、収入が安定するというメリットがある。

農業を仕事に！ 新規就農事例集

B5判・32頁・定価350円税込・送料実費

新規に就農し、「農村の生活が好き」という生き方とビジネスとしての農業を両立させた精鋭11人を紹介(8事例)。農業を仕事にしたいと考えている人にオススメ。

購入方法は、都道府県農業会議への電話か、全国農業図書のホームページで。

全国農業図書 検索



片柳さんが「どのような経緯で農家となったのか？」4頁にわたり掲載！

なないろ畑がCSA農場となった経緯

なないろ畑株式会社代表を務める片柳義春さん(54歳)は、2003年4月に46歳で新規就農した。有機農業で就業して、当初、生産した有機野菜を自然食品店4店舗に卸していた。しかし、価格が安い、労働力の確保が難しく、販路の拡大にも悪戦苦闘していた。その解決策として、地域通貨を8年に渡り導入したが、課題は多く、中止した。しかし、地域通貨が現在のなないろ畑となるきっかけになり、現在のなないろ畑の問題点を払しょくできるのではないかと今でも地域通貨に再チャレンジする準備をしている。

ちょうどこの頃、一部の生協やスーパーで食品偽装が発生したことにより、消費者は本当に安全・安心な食を求めて、なないろ畑を訪ねてきた。消費者と情報交換をしていくなかで、片柳さんが一言。

「自然食品店への出荷で忙しいから、野菜が欲しいなら、自身で収穫して。料金は、自己申告制！」

この何気ない消費者への提案が、畑に人を呼び寄せた。畑に来る人が増えたことにより、事務が煩雑となり、05年から会員制で野菜のセット販売に切り替えた(会員数約40世帯)。こうして、自然とCSA農



場となっていた。

「消費者のニーズに応じて、経営を成り立たせようとしたら、CSAになったってんです」

労働力については、会員のなかの有志がボランティアとなり、農作業のほか、出荷作業、農産物の保存、経理、会員名簿の管理などを行うようになった。

2010年には、経営を法人化し、現在は、会員が約80世帯に増えた。会員への販売のほかに、ファーマーズマーケット(直売所)を2店舗運営している。年商は1千万円。農地は、出荷場の近くに14か所あり、合計2畧となる。会員100世帯まで対応できる規模だ。作目は、会員の需要に応えるため、ゴボウ、イモ、タマネギ、ズッキーニなど約50品に及ぶ。

親分・片柳さん

ボランティアには、片柳さんを「親分」と呼ぶ人もいます。なないろ畑に人を呼び寄せたのは、親分である片柳さんの人柄がある。

片柳さんは、大学生の時から宮沢賢治の仏教、アメリカのヒッピーやコミュニケーション



苗床のハウス。下の部分に米ぬかと木材チップを幾重にも重ねる。そうすると、発酵熱などで地温が上がり、発育がよくなる。

なないろ畑が成長できた理由について、片柳さんは、①消費地の真ん中にある都市農業である、②安全な野菜、おいしい野菜の提供ができる、③収穫の楽しみを消費者が味わえることなどをあげている。

CSAは、誰もが導入できるわけではない。現に、日本で行っている農家は少ない。片柳さんは、なないろ畑をみんなの農場にして、消費者と「おしゃべり」をしながら、方針を決めていく。消費者はそのことを地域に発信していく。このことで、なないろ畑の会員が増える。

CSA農場を目指したのではなく、農家と消費者で一つずつ作り上げていったことが成功の秘訣かもしれない。



なないろ畑にとって、堆肥は「命」である。落ち葉での堆肥作り、米ぬかと木材チップでの堆肥作り、チョコレートを作った後に出るカカオの殻での堆肥作りなどに取り組んでいる。企業と協力して神奈川県内から出た生ごみを集め、堆肥にすることも始めた(ヤサイクル)。

人生経験から自然と開けた道

「まるたんぼう」の保育方針には、4つの禁句と3つの心得がある。4つの禁句とは「危ない、汚い、ダメ、早く」。そして3つの心得は「お口にチャック、手は後ろ、耳はダンボに」。その方針を貫くと、現場ではたとえばこうなる。

好き放題に道草をくうので、列は長く伸びる。おしっこを漏らした子が、動じることもなくリュックからパンツを出してひとりで着替え。ケンカして泣いた子に、年上の子が寄り添ってなだめている。ミミズや虫をいじりまわした手でお握りをつかみ、ほおばる。

子どもたちは筋力も抗菌力もバッチリだ。何より、大人の顔色をうかがう子がない。自由奔放というより、自立している」という表現がびつたりする。

「発端は自分の子の保育。〳〵与えすぎ、守りすぎ」の日本の保育環境ではうちの子はダメになるという危機感がありました。森や林業を何とかしたいなんて、だいたいそれた考えはないですよ」と、西村早栄子さん（39歳）はにこやかに語る。しかし、振り返ってみると「智頭町での森のようちえん」に、自分の人生のすべてがつつながっていたようにも思うという。

早栄子さんは、東京都町田市の新興住宅地で、遊び場の山が削られ宅地造成されるのを見ながら育った。地球の環境問題がいわれ始めた時代。「砂漠の緑化とか、自然のために働く仕事をしたい」と思うようになり、東京農業大学の林学科に進んだ。

意外なことに、大学時代のサークルはダイビング部。「地球の7割は海。森だけではなく海の世界も知らないとバランスが悪いと考えたんです」

研究テーマのほうは、砂漠の緑化から塩に強いマングローブへと興味が移り、修士課程は琉球大学、博士課程は京都大学へ進み、ミャンマーでフィールド研究もした。貧しく不衛生でも元氣いっぱいの子どもたちと出会ったのはその折。「こんな環境で子どもはたくましく立派に育つんだ。日本はおかしいのかも」と、目を開かされる思いだったという。

28歳で同じく林学を学ぶ昌教さん（36歳）と学生結婚し、長男を出産。間もなく昌教さんが鳥取で県職に就いたのを機に、鳥取市内の昌教さんの実家に同居することになった。さらにその翌年、鳥取県で林業技師の募集があったのに応じ、早栄子さんも県の職員に。そこで智頭町との係わりが生まれる。

「最初の赴任先が、智頭町も管轄する八頭総合事務所農林局でした。夫もそうなんです。研修で智頭町に1週間住みこむ〳〵プチ智頭体験〳〵をして、智頭っていいね、子育てするなら智頭みたいな田舎がいいね、自分たちの山も持ちたいねと、どんどん夢が広がって。運よく直属の上司が智頭のひとで、そのご紹介で古民家を借りられ移住しました」

ちょうど6年前、2人目の出産を間近にひかえた、2006年5月のことだった。

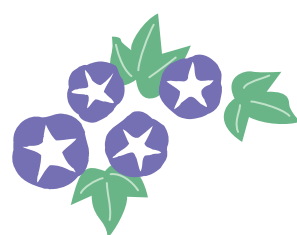
智頭町は、江戸時代には岡山と鳥取を結ぶ交通の要衝、宿場町としてにぎわった。明治以降は林業で栄え、とくに良質



自立した子を育む 自然の教育力を信じて 「森のようちえん」を開設

鳥取県智頭町
NPO法人・智頭町森のようちえん まるたんぼう

代表 西村早栄子さん



西村さん一家が借りている古民家。

な杉の産地として名をはせてきた。全国的に林業不振の現在でも、木材市場はじめ木材関係の産業が維持されているほか、森林セラピーの事業にも力を入れ、森を資源とした町づくりが行われている。

「移住して2年目に、町の人材育成塾に参加したのが大きな転機になりました。わたしには温めてきた夢がありましたので。その夢こそ、長男の子育て中に読んだ『デンマークの子育て・人育ち』（澤渡夏代ブランド著）に紹介されていた、森のようちえんだ。」

「それまでの経験から考えてきたこと、長男の子育て、森に係わる仕事をしていくこと、あらゆることがつながって、これがしたい！いつかしたい！と、思っていたんです」

森を守る力になると信じ

さっそく人材育成塾で森のようちえんの提案をしてみると、「いいね」と賛同する仲間たちが集まってきた。そこで月に1回「お散歩会」を開き、仲間や自分の子どもをいわば「実験台」に、森での保育のイメージを積み上げていくことにした。

「これといった障害もなくトントン拍子だったんですよ。お散歩会は予想以上の反響で、回を重ねるごとに口コミで参加者が増えました。具体的な『森のようちえんを作る会』に発展したところに、タミングよく新しい町づくり政策で予算がおりることになったんです。提案からわずか2年です。夢って思い続けているとかなうんですね」

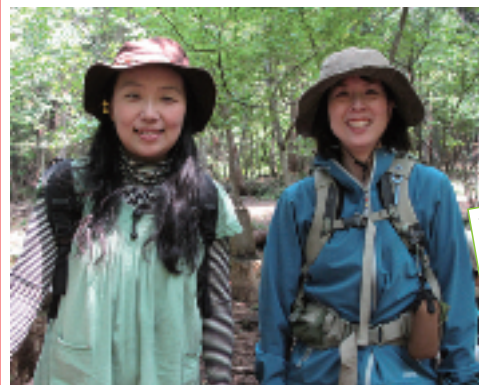
夢の実現に大きな力となったのが、ご近所のママ友であり当初からの仲間、熊谷京子さん（38歳）だ。現在中学1年から小2までの3人の男の子のお母さん。常勤スタッフとして毎日子どもたちを森に引率する、現場の司令塔でもある。

「京ちゃんの子育てセンスが『まるたんぽう』の保育方針の基礎になっています。わたしは仕事もあったので事務局の担当。彼女がいたからこその実現です」と、早栄子さん。4年前、すでに日本にも森のようちえんはいくつも生まれていたが、あえて視察などはしなかったという。自分たちの感覚や、経験から学ぶことを大事にしたかったからだ。

「2年前、本場ドイツに視察に行きましたが、保育士が手も口も出さないとところが『あつ、うちと同じだ』と実感できました。自己流でしたが、わたしたちは森のようちえんの真髄をうまくつかめたのでは、と思っています」

今、園児36人のうち4分の3が町外から通ってきている。中には「まるたんぽう」に入るため他県から智頭に移住した家族もいる。ここまで本格化したこともあり、早栄子さんは今年3月に県職を辞して、森のようちえんに専念することにした。次の夢は「森の小学校」を作ること。幼児期だけではもったいないほど、森の教育力は限りなく豊かだ。

「森で育った子どもは、大きくなったら必ずまた森に帰ってくると思うんです。直接森に係わる仕事をしなくても、少なくとも森を壊そうとする人間にはならないはず。そう信じて、今は人作りの仕事をせいいっぱいやりたいと思っています」



昨年、補助金の受け皿としてNPO法人化した。今年度は7人いるスタッフの、3人分の人件費を県と町の補助、2人分を国の緊急雇用事業でまかなっている。西村さん（左）と頼れる仕事仲間、熊谷京子さん。



リュックには着替えとお弁当、水筒が入っている。たとえ2歳児でも自分の物は自分で背負う。



フィールドの森は全部で14か所。気象の注意報・警報が出ていないかぎり森ですごく。



入園時のプレゼントは熊鈴とホイッスル。どちらも自分の居場所を知らせるアイテム。つまり「迷子」になれるほど行動は自由なのだ。

漁師の合同会社OHガッツ設立 見つめるのは漁業の未来

宮城県石巻市雄勝町^{いしのまきしおがつちよう}

合同会社OHガッツ

代表 伊藤浩光さん^{いとうひろみつ}



伊藤さん。毎日忙しく、予定はかなり先まで埋まっているという。

描いていた青写真

宮城県石巻市雄勝町は、小さな岬が連なる三陸海岸の一角、東北地方太平洋沖地震の震源地に最も近いエリアにある。津波は町を壊滅的な状況に追いやり、震災後、人口の半数以上が流出して現在では1千人を切っている。

そうした状況のなか雄勝でカキやホヤの養殖を営む一人の漁師が注目を集めている。伊藤浩光さん（51歳）。仲間とともに漁師による合同会社OHガッツを設立し、代表を務める。

伊藤さんが家業を継いで本格的に養殖業に携わったのは43歳になってから。

「漁師はほとんどが個人事業主でしょ。独立志向が強いということもあるけれど、個人では生活が安定しないし、日本の漁業の古い仕組みのなかでは稼げる範囲もおのずと決まってしまう。自分が漁業に携わるようになって、そうした点を本格的に変えたいと強く思うようになったんです。水産ビジネスのモデルを示そうと思っていました。そうしたら津波が来てしまった。」伊藤さんが実践してきたさまざまなビ

ジネスのなかに例えば輸出がある。

「ホヤはよかつたね。ホヤは食べますか。東北の人間はよく食べる。韓国の人もよく食べるんですよ。輸出して4千万の売上になったこともありました」

目に焼けた彫りの深い肌、鋭い眼光は漁師のそれだったが、輸出や起業モデルの話をする伊藤さんは、ビジネスパーソンの顔だ。「こんなことを描いていたんですよ」と手渡された1枚のコピー用紙には、OHガッツの原型となるビジネスの仕組みが図式化されていた。

何度も書き直しをしたという起業モデル。その核となるものがあつたから伊藤さんの復興は早かった。震災後、地元への物資支援のため単身で仙台へ。3月、4月、5月、物資を雄勝へ運び続けた。その活動のなかで知り合ったのがOHガッツとともに立ち上げることとなった立花貴さんらだ。

「どこで知り合ったかなんて、あの混乱のさなかでよく覚えてないな。企画の青写真に周りが賛同してくれて、もともとNPOに参加していたこともあって会計士や司法書士の知人も多かったから、皆が協力してくれたんです」



谷の反対側から見たOHガッツ事務所（左）と伊藤さん宅（中央奥）。



船上では甥っ子である伊藤さんの後継者がカキを洗浄。



ホタテ貝に種付けされたカキの稚貝。

漁師の合同会社設立へ

話し合うなかで生まれた仕組みとは、「そだての住人」という新しい形のオーナー制度を設けた、漁師による合同会社だった。

これまでの養殖オーナーは、ただ商品を買っただけだが「そだての住人」は、実際に現地に足を運び、海産物を育てる作業に参加する。漁師とともに汗をかくことで生まれる共感を大切にしたいという願いが



伊藤さんのお父さん。カキが種付けされた貝を等間隔でロープに通していく。

込められている。

合同会社にしたのは、個人事業主単位ではなかなか実現できない加工、流通にかかるコストの削減や、消費者に対する安定供給を一気に可能にするためだ。参加漁師たちは社員になるわけではないため独立性は保たれる。合同で漁業の6次産業化（生産・加工・販売）を目指して一つのビジネスを行う形となる。

漁業の復興モデルであり、普遍的なビジネスモデルでもある仕組み。それがOHガッツ。参加した漁師は11人。この規模も伊藤さんの努力の賜物であり人集めには一番苦労したという。

「いったい何を始めるんだ。成功したら参加する。そんなことできるわけがない。いろいろないわれだし、批判もありました。でもともかく前に進むしかないという思いです。今まで築いたものを一切合財もっていかれちゃって、失うものは何もないわけですから、立ち上がるなら新たな形にしよう、直感的に思っただけです」

カキ収穫までは2、3年

そう思っただけで立ち上げてから9カ月。伊藤さんが次に目指しているステップは株式会社の設立だという。OHガッツを経て合同会社の利点も課題も見えたからで、将来を見据える先見性と立ち止まらない行動力が、伊藤さんという男の魅力なのだろう。

「合同会社は土地ひとつ購入するにも全員がYESといってくれないと買えないんです。だからトップダウンでスピーディに進めていかないとならない事業には合わない。今後合同会社を作ろうとする漁

師も多いと思うけど、規模ではなく動きやすさを考えるなら、2〜3人で設立するのが一番いいパターンかもしれません」

OHガッツの場合は「復興」という目的や、人口流出という町の課題に対して「担い手を育成する」という目的も掲げている。大所帯には意味があった。しかし、今後展開するすべての事業にこの方法が合うとは限らない。

合同会社のメンバーとなる漁師のなかには銀ザケ漁ですでに水揚げを開始し、多少なりとも売上につながっている漁師もいる。

一方で伊藤さんはカキやホヤ、ワカメを中心とする養殖漁。ワカメの収穫はあったが、カキ・ホヤが育つには小さな種からだと2〜3年かかる。それまでにどう食いつないでいくのかということが大きな課題となるのだ。スピーディーにトップダウンで決めていく組織の必要性も感じていた。

日本の水産業を変えたい

雄勝湾を望む高台からは、青い海面にところどころ色鮮やかな養殖ブイ群が浮かんでいるのが見える。復興の途に就いたことを物語る風景だが、一筋縄では行かない道のりが、その向こうにある。

「雄勝のためだけに動いているんじゃないです。地域振興？ そんなに小さくないですよ。日本の漁業、水産業の将来を変えるような変革をもたらしたいですね。それには、漁師が消費者とつながらないと。今までのどおりのやり方とは異なる方法で立ち上がらなくと。日本の水産業の未来を考えていきたいと思ってるんです」

鳥取県で就農を目指す社会人の皆さん

退職帰農、IJUターン
就農者を歓迎

鳥取県立農業大学校は待っています!

次の2つの教育課程で、就農を目指す社会人を受け入れます。

■養成課程

農業経営学科(専修学校)

2年間の学生生活してみませんか
社会人入学があります



生産から販売までの専門的な知識、技術を体系的に習得します。
退職後就農者やIJUターンなどの社会人も特別枠を設けて受け入れます。

①専攻コース：果樹、野菜、花き、作物、畜産に分かれます。

②修学年限2年間

③定員30名(社会人特別入学枠5名程度を含む)

※社会人：平成25年4月1日現在で年齢65歳未満、かつ2年以上の職歴があり、卒業後鳥取県内に就農することが見込まれる方。

④社会人特別入学の受験日程

区分	前期試験	後期試験
受付期間	11月5日(月)～22日(木)	1月7日(月)～25日(金)
試験日	12月9日(日)	2月10日(日)
合格発表	12月14日(金)	2月15日(金)

■研修課程

短期研修科

1年以内のコースで研修
就農に役立つ実践研修コースです



短期間で就農の際に即戦力となる技術や知識を習得します。

①修業年限は1年以内です。

②コースと開講時期

コース	開講時期
3か月	4月、7月、10月
6か月	7月、1月
12か月	4月

※果樹、野菜、花き、作物、畜産の各部門で行いますが、コースによって受講できない部門があります。

③出願及び開講日程

区分	24年10月開講 3か月コース	25年1月開講 6か月コース
受付期間	8月1日(水)～8月31日(金)	11月1日(木)～11月30日(金)
面接日	9月14日(金)	12月14日(金)
開講予定日	10月16日(火)	25年1月22日(火)

*詳しくは、本校ホームページか直接問い合わせ下さい。

URL: <http://www.pref.tottori.lg.jp/noudai/>

鳥取県ふるさと就農体験研修に参加しよう

鳥取県で農業を始めようとされる方を対象に、農作業体験、新規就農者等の視察研修などを行っていただきます。

主催：鳥取県農業農村担い手育成機構、鳥取県立農業大学校

日時：平成24年11月10日(土)～11日(日)の2日間

内容：1日目 農大見学・農作業体験・新規就農者との情報交換会

2日目 新規就農者の視察研修等

申し込み方法：担当者へ連絡ください。申し込み用紙を送付します。

締め切り：10月26日(金)、ただし先着20名になり次第締め切り

農業大学校地図



●お問い合わせ先

【専修学校】鳥取県立農業大学校

☎ 0858 (45) 2411 担当/徳山英晴、山下泰之

〒682-0402 鳥取県倉吉市関金町大鳥居1238 FAX.0858 (45) 2412

E-mail: nogyodaigaku@pref.tottori.jp

URL: <http://www.pref.tottori.lg.jp/noudai/>

詳しくはホームページをご覧ください。また、お気軽にお問い合わせ下さい。



新潟できみの夢をみつけ・実現しよう

夢(就農)の実現を、一緒に考え・支援します

支援その1 就農相談会の開催

新潟独自の就農相談会を実施

会場	開催時期	開催場所
東京	7月・9月・2月	表参道・新潟館ネスバス他
新潟	7月・11月・3月	新潟市内ホテルを予定

すべて個別面談
参加費無料

支援その2 農業の体験・研修を斡旋

農村生活から営農技術まで皆さんの要望に合った体験・研修を斡旋

体験研修の内容	期間	体験研修の内容	期間
農業・農村を体験	6日以内	専門的技術を研修	3ヶ月未満
農業の入門段階を体験	1ヶ月未満	営農技術を研修	3ヶ月以上

3ヶ月以上の研修では、就農支援コースも準備

参加者募集中
参加費無料

支援その3 就農に必要な資金を無利子で融資

就農計画が認定された者に、就農前の研修資金や
就農後の施設・機械の導入に活用できる資金を貸付

支援その4 農業法人等への就職を無料で紹介

新潟県内の法人等からの求人を紹介



- 当センターでは、休日を除き専任の就農相談員が支援策の相談に応じています。
- お問い合わせ先

社団法人新潟県農林公社 青年農業者等育成センター
☎ 025 (281) 3480

〒950-0965 新潟市中央区新光町15番地2 FAX:025-281-3481

新潟県新規就農相談センター

検索

長野県 飯田市



3泊4日で農家のお手伝いをしてみませんか? ワーキングホリデー飯田・参加者募集!

南信州・飯田市では、忙しい時期の農家をお手伝いいただく
援農ボランティア「ワーキングホリデー飯田」参加希望者を募集しています。
「農業に関心がある」「自然が大好き」「農家の生活を体験したい」皆さん、
どうぞ飯田においてください!



募集要項

- 日程/ (予定)
第1回: 11月 1日(木)~11月 4日(日) 3泊4日
第2回: 11月22日(木)~11月25日(日) 3泊4日
 - 宿泊・食事/ 作業をする農家にて提供。食事は初日夕食から最終日昼食まで。
 - 作業内容/ リンゴ収穫、市田柿(干し柿) 作業など。
 - 募集人員/ 第1回、第2回合わせて100名程度を予定。
 - 参加費/ 無料
 - 申込期間/ 9月3日(月) ~ 9月18日(火)
 - 応募方法/ インターネット、郵送又はFAX (参加申込書はお電話でご請求ください)
 - 参加の可否/ 参加いただく20日程度前までに事務局よりお知らせいたします。
- ※これ以外の期間でも、随時申込を受け付けます。
農閑期となる1~2月を除きほぼ通年で受入しますので事務局までお問い合わせください。

お問い合わせ先

長野県飯田市役所農業課内
ワーキングホリデー事務局

☎ 0265 (21) 3217
〒395-0817 長野県飯田市市東281
FAX: 0265 (52) 6181
E-mail : worholi@city.iida.nagano.jp
HP : http://www.city.iida.lg.jp/waki/

「新・農業人フェアinいばらき」新規就農相談会開催情報

茨城県で
農業を始めたい

農業法人に
就職したい

農業を
学びたい

農業を目指しているあなた。
いばらきでチャレンジしてみませんか？
農業を始めたい方々
のご来場を待っています。

第1回 つくば市

日時 平成24年7月21日(土)
11:00~16:00

場所 イーアスつくば2階
イーアスホール

つくばエクスプレス
『研究学園駅』から徒歩5分



第2回 日時 平成24年12月8日(土)
11:00~16:00

場所 フェリヴェールサンシャイン

第3回 日時 平成25年2月9日(土)
11:00~16:00

場所 ホテルグランド東雲



きっと見つかる あなたの農業

茨城県新規就農相談センター

公益財団法人 茨城県農林振興公社(農業担い手育成室)

〒311-4203 茨城県水戸市上国井町3118-1

☎ 029 (239) 7131 URL : <http://www.ibanourin.or.jp>

新潟県 佐渡市

佐渡を楽しむ。佐渡で暮らす。

島暮らし 佐渡体験交流会



佐渡の暮らしを『見て！感じて！知る！』ことができる体験ツアーを開催します。農業体験や地域との交流、公共施設の見学、移住者との懇談会、島内観光など盛りだくさん！ぜひご参加ください。



平成24年度 開催日程(予定)

7月21日~22日	漁業体験、公共施設見学、島内観光他	定員:各回10名程度 費用:1万5千円程度 (往復佐渡汽船運賃、 宿泊費等)
10月13日~14日	稲刈体験、公共施設見学、島内観光他	

※日程・内容は変更になる場合があります。詳細が決定次第、以下のホームページに公開します。

体験情報はこちらから↓(佐渡市交流・定住情報ホームページアドレス)

<http://sougo.city.sado.niigata.jp/kikaku/teijyusokushin/TOP.jsp>

体験情報の他にも、佐渡準市民のご案内、空き家情報、定住支援情報等を掲載しています。

問合せ先

佐渡市地域振興課

☎ 0259 (63) 4152 Fax. 0259 (63) 5125

〒952-1292 新潟県佐渡市千種232番地

E-mail k-kikaku@city.sado.niigata.jp



公益財団法人 北海道農業公社

北海道新規就農・ 農業体験セミナー開催！

北海道農業に興味関心のある方は誰でも参加OK
新規就農・農業体験・法人就職など
北海道農業への関わり方について説明します。
→希望者に「新規参入事例集」差し上げます。

東京 7月6・7日、10月12・13日 両日とも(金)(土)
池袋サンシャインシティ

要予約

大阪 6月1・2日、9月7・8日、11月30・1日 両日とも(金)(土)
梅田スカイビル タワーウエスト22階会議室

要予約

キーワードは農業。
新・農業人フェア開催！

北海道内の市町村などが参加して、
あなたのご質問にお答えします。

大阪 7月7日(土) 梅田スカイビル タワーウエスト

東京 10月20日(土) 池袋サンシャインシティ

札幌 11月17日(土) 札幌コンベンションセンター

予約はこちらまで

公益財団法人 北海道農業公社(北海道農業担い手育成センター)

☎ 0570 (044) 055 (相談ナビダイヤル)

札幌市中央区北5条西6丁目 北海道通信ビル6F

HP : <http://www.adhokkaido.or.jp/ninaite/index.html>

北海道で農業をはじめる

検索



北海道 占冠村 (しむかつぶむら)

雄大な自然に囲まれた占冠村で 人生の新たな一歩を 新規就農を目指す方を 募集します!

※概ね60歳未満の方
が対象

募集情報

占冠村のキャッチフレーズは「自然体感占冠」。面積の90%以上を占める雄大な森林が育む植物・動物・新鮮な空気、国内トップクラスの清流鶴川等々、様々な自然の「恵み」を満喫することができます。

占冠村の農業は、豊かな自然環境の中で、黒毛和牛を生産する畜産を主に、酪農、畑作が行われております。

占冠村には、全国屈指のリゾート「トマムリゾート」があり、交通網も高速道路の開通により札幌方面、十勝・釧路方面とのアクセスが飛躍的に向上しました。

占冠村で本気で「農業がしたい!」という健康で意欲のある方を募集します。

占冠村で新規就農を目指す方を応援します!!

＜新規就農を目指す方への補助制度の内容＞

①実習費・住宅費補助金

占冠村の既存農家で実習を行う新規就農希望者に対して、実習費として月額7万円、住宅費として月額3万円、合計月額10万円を最大で3年間補助します。

②就農支援補助金

占冠村で実習期間(最大3年間)を終え、占冠村で就農する新規就農者に対して、就農支援補助金として月額14万円を最大で2年間補助します。

③就農継続奨励金

占冠村で新規就農し、農業従事期間が5年に達した方に対して、奨励金として30万円を交付します。

④その他経済支援補助金

詳しくはお問い合わせ願います。

●お問い合わせ

占冠村役場産業建設課

農業担当 ☎ 0167(56)2174 担当/阿部、上島

E-mail sangyo@vill.shimukappu.lg.jp URL <http://www.vill.shimukappu.lg.jp/>



長野県 長野市

長野市で農業を始める あなたを応援します!!



長野市新規就農者支援事業のご案内

◎支援事業の内容

市内外から就農希望者を募り、農業の担い手を確保・育成する「研修費助成」、「営農資金助成」の支援をします。

対象者	新規参入者	市内の農家子弟
助成内容	(1) 研修費助成 期 間…最長3年間 助成額…月額10万円以内	期 間…最長2年間 助成額…月額10万円以内
	(2) 営農資金助成 期 間…2年間 助成額…月額10万円	期 間…2年間 助成額…月額5万円
応募資格	(1) おおむね40歳以下の認定就農者または認定農業者であること (2) 市が認める農業研修を受けること、または1年以内に農業研修を修了していること (3) 経営主として営農を開始し、就農後10年以上営農を継続すること (4) 普通自動車第一種免許を有すること (5) 就農時に市内に住所を有し、市内で就農すること	
応募期限 (年2回)	第1回…平成24年7月31日まで 第2回…平成25年1月31日まで	

※青年就農給付金と重複支給はいたしません。

◎その他支援

①市内の農業関連団体等で構成する長野市新規就農者支援会議により、農地・住宅の斡旋、栽培技術指導等を支援します。

②農業機械の購入費用の一部を補助します。

問合せ先

長野市 農林部農業政策課 新たな農業企画室

☎ 026(224)5098(直通) Fax. 026(224)5113

HP : <http://www.city.nagano.nagano.jp> E-mail : nosei@city.nagano.lg.jp

北海道 幕別町

募集情報

短期研修生

1年を基準にした農業体験コースです。これから新規就農を目指す方はもちろん、「食」や「農」についてもっと知りたい、北海道幕別町の畑で働いてみたい、農作業を体験したいなど、農業に関心のある方を幅広く歓迎します。

※ご希望に合わせて、研修期間の設定可能

フロンティア研修生

新規就農を目標にするコースです。「農業人になる!」という信念をお持ちの方は、短期研修を終了した後に審査を経て、このコースに進み、より実践的な研修を受けることができます。

こんな方を募集します

●募集人員：若干名

○新規就農を目指す、概ね35才までの方。体験コースを希望する方については、年齢は問いませんが、心身ともに健康で農作業が可能な体力のある方。

○普通自動車免許が必要です。

※新規就農を目指す方については、必要となる自己資金を準備できること。妻帯者が前提となります。

※現在、忠類地区において、酪農で新規就農を目指す方を大募集!詳しくは、事務局までお問い合わせください。

生活環境

○アパート形式の住宅を完備していますので、プライベートはしっかり確保されます。オール電化対応の快適な施設です。

○幕別・札幌市街地までは車で15分ほど、金融機関や食料品等の生活に必要なものが揃います。隣接する帯広市・忠類市街地へは30分程度です。

まくべつ農村アカデミー

事務局 財団法人幕別町農業振興公社

☎ 0155(57)2711

北海道中川郡幕別町字新和162番地128

FAX. 0155(57)2716

E-mail:nogyosinkokosya@north.hokkai.net

<http://north.hokkai.net/nogyosinkokosya>

新・農業人フェア

大阪(7/7)、札幌(11/17)出展



北海道 湧別町

湧別町(ゆうべつちょう)は、網走市から北西90kmに位置する農業と漁業が盛んな人口約1万人の町です。農業分野においては、肥沃な恵ある大地では畑作が、山間や河川域では乳牛飼育による酪農が盛んです。

都会の雑踏から離れて、オホーツク海とサロマ湖そして森に囲まれた緑の大地で農村生活を体験してみませんか?

農村生活体験学習・交流事業は、単なる農業実習のみならず、同世代農業青年との交流会もメニューに取り込んでおり、これまでに約70名の方が参加されました。

北海道の農村生活に憧れている方は、ぜひ応募してください。

募集情報

募集人員▶若干名

募集期間▶定員になり次第、締切

募集要件▶1～2ヶ月程度実習可能な20歳以上40歳ぐらいまでの健康な独身女性

事業期間▶平成25年3月31日

事業内容▶

①実習：畑作、酪農の作業等
②生活：専門宿舎(生活用具完備)あるいはファームステイ

③その他：同世代農業青年交流会あり

待遇▶①手当て：専門宿舎12万円

ファームステイ8万円(食事付)

②休日：毎週日曜、第2・4土曜(天候により変動あり)

③その他：作業衣等無償提供、旅費

最大5万円支給

④送迎：女満別空港、オホーツク紋別空港、JR遠軽駅

問合せ先

湧別町総合支所

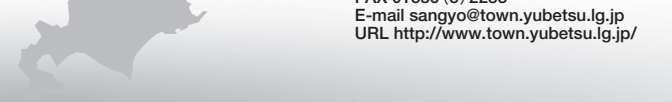
産業振興課農政係

☎ 01586(5)3763 担当/出口、西堀

FAX 01586(5)2283

E-mail sangyo@town.yubetsu.lg.jp

URL <http://www.town.yubetsu.lg.jp/>



オホーツクの大地で あなたの夢を広げよう!

空と土の間に生きるという選択

「自然に囲まれて仕事がしたい」「家族との時間を大切にしたい」

十勝平野の真ん中で、あなたの目指す農業を実現してみませんか。

幕別町は、畑作、路地野菜、酪農等の多様な農業が営まれており、きっとあなたの希望する研修ができるでしょう。

まくべつ農村アカデミーは、平成7年に開校以来、多くの卒業生を送り出してきました。本気で農業について考えたいのなら、私たちはきっとあなたの力になることができます。

長期研修生、 新しいなかビジネススクール受講生

随時
募集中!!

	新しいなかビジネススクール	就農希望者長期研修
内容	新しいなかビジネススクールは、「農業にチャレンジしてみたい」「農業の勉強をしたい」という就農を希望する方のために、高知県が実施しているインターネットでの通信講座です。 就農するために必要な知識や農業技術、高知県農業の概要を学ぶことができます。スクーリング（農業実習・農家視察など）へも参加できます。	I・Uターン等で就農を目指す方に、宿泊しながら自主的に学べる実践的な農業技術研修です。 目的や希望（野菜・水稻・果樹・農業機械等）に応じて、主体的に研修できます。栽培実習を中心に、同校教育課や試験場での講座、先進農家での研修を受けることができます。 お気軽にご相談ください。
定員	50名	20名程度
料金	受講料：無料 スクーリング参加費：1日480円	研修料：1日480円 食事代：朝食200円、昼食400円、夕食400円 ※宿泊施設と食堂を完備
備考	◎スクーリング日程 平成 24 年 6 月 15 日（金）～17 日（日） 10 月 12 日（金）～14 日（日） 12 月 7 日（金）～ 9 日（日） 平成 25 年 2 月 15 日（金）～17 日（日）	研修期間： 「一般コース」3、6、12ヶ月コース 「熟年コース」3、6ヶ月コース（原則） ※要面接。随時受付。 ※宿泊無料（要：シーツクリーニング代）
URL	http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/kikan/agri/H23inaka/index.html	http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/kikan/agri/



新・農業人フェア（就農相談会）日程
「高知県ブース出展予定」
東京（H24/10/20、H25/1/19）
大阪（H24/7/7、H25/2/16）

高知県立農業大学校 研修課「窪川アグリ体験塾」

〒786-0042 高知県高岡郡四万十町黒石665
FAX. 0880 (24) 1272

☎ 0880 (24) 0007 担当／内原、矢野

農林漁業就業・ふるさと情報



WEB版では、本誌の内容と
バックナンバーを見ることができます。

雑誌オンライン

検索

では、電子書籍で
全編閲覧可能!!

農・林・漁業の就き方をフローチャートで解説。

過去1年分の特集記事も掲載。

中村顕治 大人気コラム「農園歳時記」が
連載第1回目から見られる。

募集・求人情報を見られる。



受けよう! 農検

2012年度 農林水産省・文部科学省後援
日本農業技術検定

日本農業技術検定 第2回 試験日程

試験日 2012年12月15日(土) **3級** **2級** **1級**

応募期間 2012年10月5日(金)～11月5日(月)

実施主体 日本農業技術検定協会(TEL:03-6910-1126)

詳細については、[日本農業技術検定](#) [検索](#)

日本農業技術検定は、農業を学ぶ生徒・学生や農業を仕事にしたい人のための検定です。農業の知識・技能の水準を客観的にはかることができます。

合格者には農業大学校や農業系大学への推薦入学で有利になったり、学校の受験料の免除などもあります!

また、新規就農希望者にとっては、農業法人への就農の際のアピール・ポイントとして活用できます。さらに、海外農業研修への参加を考えている方も、日本農業技術検定を取得していると、筆記試験が免除となる場合があります。

その効果も相まって、受験者数は年々増加し、検定が始まった2007年度の約8,600人から昨年度は約2万人となりました。あなたも、「日本農業技術検定」を受けてみませんか。

2011年度 受験者数および合格率

	受験者数	合格者数	合格率
3級	16,152人	8,731人	54%
2級	3,554人	855人	24%
1級	244人	20人	8%
計	19,950人	9,606人	48%

(2011年度に実施された試験2回の合計数)

過去問題集 絶賛発売中!!

3級はセットで2,000円、
2級はセットで3,000円。
セットでご購入を!

新刊

「2012年度版 日本農業技術検定 過去問題集 3級」

23-41 A5判・52・21頁 定価500円 税込み 送料実費

◎最新2011年度の試験問題2回分を収録

「日本農業技術検定 過去問題集 3級」

23-03 A5判・163・48頁

定価1500円 税込み 送料実費

◎2007年度から2010年度の試験問題9回分を収録



新刊

「2012年度版 日本農業技術検定 過去問題集 2級」

24-01 A5判・147・39頁 定価1000円 税込み 送料実費

◎最新2011年度の試験問題2回分を収録

「日本農業技術検定 過去問題集 2級」

23-04 A5判・254・64頁 定価2000円 税込み 送料実費

◎2009年度と2010年度の試験問題4回分を収録

ご購入は、あなたのお住まいの都道府県農業会議へ

全国農業図書

検索





I・J・Uター 農林漁業就業 相談窓口

ここでは都道府県や関連団体が開設している相談窓口を紹介する。I・J・Uターン相談窓口では移住に関する情報——住居や地元企業への就職情報を提供している。

農林漁業への就業を希望する場合は、専門的な内容となるので、各業種の相談窓口を積極的に活用しよう。相談窓口には、それぞれ全国段階と都道府県段階がある。全般的な相談は全国段階、地域の具体的な相談は都道府県段階で受け付けている。相談にいくときは、事前に連絡をしよう。

●地元に設置されているI・J・Uターン定住・相談窓口

(注) **定**＝定住情報、**就**＝就職相談窓口

地域	団体名	定	就	電話番号	所在地
北海道	北海道移住促進協議会	定		011 (251) 3188	札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1.7ビル4階
岩手県	定住・交流サポートセンター (財) ふるさといわて定住財団	定	就	019 (629) 5194 019 (653) 8976	盛岡市内丸 10-1 県庁内 盛岡市内丸 10-1 岩手県庁2階
宮城県	宮城県企画部地域振興課	定		022 (211) 2424	仙台市青葉区本町3-8-1
秋田県	(財) 秋田県ふるさと定住機構		就	018 (826) 1731	秋田市御所野地蔵田3-1-1 秋田テルサ3階
山形県	すまいる山形暮らし案内所	定		023 (630) 3083	山形市松波2-8-1 県庁6階
福島県	福島県観光交流局観光交流課 ふるさと福島就職情報センター (福島)	定	就	024 (521) 7287 024 (525) 0047	福島市杉妻町2-16 福島市三河南町1-20 コラッセふくしま内
茨城県	いばらきさとやま生活「田舎暮らし相談窓口」	定		0294 (72) 2266	常陸太田市木崎二町937-10
栃木県	“とちぎ暮らし”推進協議会	定		028 (623) 2233	宇都宮市塙田1-1-20
山梨県	人材紹介バンクやまなし		就	055 (223) 1562	甲府市丸の内1-6-1 県庁別館3階
静岡県	ふじのくに移住・定住相談コーナー	定		054 (221) 2610	静岡市葵区追手町9-6 県庁東館11階交流促進課内
愛知県	愛知県交流居住センター	定	就	052 (232) 1750	名古屋市中区錦1-10-27 カネヨビル4階
新潟県	新潟県総務管理部地域政策課交流・定住促進班	定		025 (280) 5088	新潟市中央区新光町4-1
富山県	「くらしたい国、富山」推進本部	定		076 (444) 4496	富山市新総曲輪1-7
福井県	福井県定住サポートセンター	定	就	0776 (20) 0387	福井市大手3-17-1 県庁労働政策課内
長野県	長野県観光部移住・交流課 (田舎暮らし案内人) 長野県商工労働部労働雇用課	定	就	026 (235) 7248 026 (235) 7201	長野市大字南長野字幅下692-2 県庁内 長野市大字南長野字幅下692-2 県庁内
岐阜県	岐阜県総合企画部観光交流推進局地域振興課 岐阜県労働雇用課	定	就	058 (272) 8078 058 (271) 4135	岐阜市藪田南2-1-1 岐阜県庁3階 岐阜市藪田南2-1-1 県庁労働雇用課内
三重県	おしごと広場みえ		就	059 (222) 3309	津市羽所町700 アスト3階
京都府	京の田舎暮らし・ふるさとセンター 京の田舎暮らし・ふるさとセンター	定	就	075 (414) 6624 075 (682) 1800	京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104-2 府庁西別館2階 京都市南区東九条下殿田町70 京都テルサ西館3階
兵庫県	ひょうご・しごと情報広場 若者しごと倶楽部		就	078 (351) 3371	神戸市中央区東川崎町1-1-3 神戸クリスタルタワー 12階
奈良県	奈良県地域振興部地域づくり支援課	定		0742 (27) 8474	奈良市登大路町30 奈良県庁主棟4階
和歌山県	和歌山県企画部過疎対策課 和歌山ふるさと定住センター 和歌山県就業支援センター	定 定 就		073 (441) 2930 0735 (78) 0005 0738 (23) 3488	和歌山市小松原通1-1 東牟婁郡古座川町直見212 御坊市塩屋町南塩屋724
鳥取県	鳥取県移住定住サポートセンター (財) ふるさと鳥取県定住機構	定 定	就	0857 (26) 7128 0857 (24) 4740	鳥取市東町1-220 県庁本庁内 鳥取市扇町7 鳥取フコク生命駅前ビル1階
島根県	(財) ふるさと島根定住財団	定	就	0852 (28) 0690	松江市朝日町478-18 松江テルサ3階
岡山県	岡山県中山間・地域振興課 岡山県緊急雇用対策室	定	就	086 (226) 7267 086 (226) 7599	岡山市北区内山下2-4-6 県庁8階 岡山市北区内山下2-4-6 県庁7階
広島県	広島県交流・定住促進協議会事務局 ひろしま夢ばらざ 田舎暮らし相談コーナー 広島県無料職業紹介所	定 定 就		082 (513) 2623 082 (544) 1122 082 (513) 3427	広島市中区基町10-52 県庁南館2階 広島市中区本通8-28 広島市中区基町10-52 県庁東館3階
山口県	UJIターン相談コーナー	定	就	083 (976) 1145	山口市小郡高砂町1-20
徳島県	徳島県就労支援プラザ		就	088 (621) 2350	徳島市万代町1-1
愛媛県	愛媛ふるさと暮らし応援センター	定		089 (922) 4110	松山市宮西1丁目5番19号 愛媛県商工会連合会館3階
高知県	高知県地域づくり支援課 高知県U・Iターン人材情報センター	定	就	088 (823) 9336 0120 (103) 245	高知市丸ノ内1-2-20 高知市丸ノ内1-2-20 高知県雇用労働政策課内
佐賀県	佐賀の暮らし相談室		就	0952 (25) 7066	佐賀市城内1159 県庁内
長崎県	“ながさき田舎暮らし”のワンストップ窓口	定	就	095 (895) 2245	長崎市江戸町2-13
熊本県	熊本県地域振興部地域政策課	定		096 (333) 2134	熊本市水前寺6-18-1
大分県	おおいた人材Uターンセンター 大分県 企画振興部 観光・地域振興局		就	0120 (119) 201 097 (506) 2116	大分市高砂町2-50 OASISひろば21 ハローワークプラザ内 大分市大手町3-1-1 大分県庁舎本館3階
宮崎県	宮崎ふるさと暮らし相談窓口	定		0985 (26) 7047	宮崎市橋通東2-10-1

●全国の就職情報や関連情報を提供する窓口

地方就職支援コーナー〔地方や農林漁業に関する職業相談、就職紹介、求人情報等の提供（国の機関）〕	03 (3450) 8632	東京都港区港南2-5-12 ハローワーク品川 品川庁舎4階
まちむら交流きこう 広報情報センター部〔農林漁業体験の情報提供〕	03 (4335) 1982	東京都千代田区神田東松下町45 金子ビル5階
ふるさと情報プラザ〔全国の自治体観光パンフレット等の提供〕	03 (3284) 0855	東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザ13階

●道府県I・J・Uターン就職情報等提供・相談窓口 (注) 農＝農業就業情報、林＝林業就業情報、漁＝漁業就業情報、定＝定住情報、求＝地元企業求人情報

地域	団体名	農	林	漁	定	求	電話番号	所在地
北海道	北海道IU（移住）情報センター就職相談コーナー	農			定	求	03 (5212) 9208	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館15階 北海道東京事務所内
	北海道東京事務所大阪支所	農			定	求	06 (6344) 4151	大阪市北区梅田1-3-1-900 大阪駅前第1ビル
青森県	あおもりキャリアセンター	農				求	03 (3271) 0700	東京都中央区八重洲2-2-1 住友生命八重洲ビル5階
	青森県大阪情報センター	農			定	求	06 (6341) 2184	大阪市北区梅田1-3-1-900 大阪駅前第1ビル9階 青森県大阪事務所内
岩手県	岩手県Uターンセンター	農			定	求	03 (3524) 8284	東京都中央区銀座5-15-1 南海東京ビル1階 いわて銀河プラザ内
	岩手県Uターンセンター・大阪				定		06 (6341) 3258	大阪市北区梅田1-3-1-900 大阪駅前第1ビル9階 岩手県大阪事務所内
宮城県	ふるさと宮城人材ネットワーク東京情報センター				定	求	03 (5212) 9048	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館12階 宮城県東京事務所内
秋田県	Aターンプラザ秋田				定	求	03 (5251) 9115	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館7階 秋田県東京事務所内
	秋田県大阪事務所					求	06 (6341) 7897	大阪市北区梅田1-3-1-900 大阪駅前第1ビル9階
山形県	山形県Uターン情報センター	農	林	漁	定	求	03 (5212) 8996	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館13階 山形県東京事務所内
	山形県大阪事務所	農					06 (6341) 6816	大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8階
群馬県	ぐんま総合情報センター「ぐんまちゃん家」	農			定	求	03 (3546) 8511	東京都中央区銀座5-13-19 デュープレックス銀座タワー 5/13 2階
山梨県	やまなしU・Iターン就職支援室	農	林		定	求	03 (5213) 2890	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館13階 山梨県東京事務所内
	ふるさと山梨就職情報コーナー	農					06 (6344) 5961	大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル21階 山梨県大阪事務所内
富山県	富山県東京Uターン情報センター					求	03 (3816) 1655	東京都文京区白山5-1-3 東京富山会館ビル5階
	富山県大阪Uターン情報センター					求	06 (6445) 2811	大阪市西区靫本町1-9-15 近畿富山会館3階
石川県	石川県東京Uターン相談室	農	林	漁		求	03 (5212) 9016	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館14階 石川県東京事務所内
	石川県大阪Uターン相談室	農	林	漁		求	06 (6363) 3077	大阪市北区西天満4-14-3 住友生命御堂筋ビル2階
	石川県名古屋Uターン相談室（栄）					求	052 (251) 7350	名古屋市中区栄3-1-26 本町牧野ビル5階
	石川県名古屋Uターン相談室（名古屋駅前）					求	052 (589) 3180	名古屋市中村区名駅南1-24-30 名古屋三井ビル本館10階
福井県	東京・福井Uターンセンター	農	林	漁	定	求	03 (5778) 0291	東京都港区南青山5-4-41 ふくい南青山291 2階
	福井県大阪事務所	農	林	漁	定	求	06 (6231) 1024	大阪市中央区瓦町2-2-14
長野県	長野県移住・交流センター	農	林		定	求	03 (3214) 5655	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館2階 長野県東京観光情報センター内
新潟県	にいがたUターン情報センター	農	林	漁	定	求	03 (5771) 7713	東京都渋谷区神宮前4-11-7 表参道・新潟県ネスパス2階
静岡県	静岡Uターン就職情報センター					求	03 (5212) 9035	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館13階 静岡県東京事務所内
和歌山県	きのくにUターンセンター	農	林	漁	定	求	03 (5212) 9057	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館12階 和歌山県東京事務所内
鳥取県	ふるさと鳥取Uターンコーナー（東京）	農	林	漁	定	求	03 (5215) 5117	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館10階 鳥取県東京本部内
	ふるさと鳥取Uターンコーナー（大阪）				定	求	06 (6455) 0233	大阪市北区梅田1-1-3-2200 大阪駅前第3ビル22階 鳥取県関西本部内
島根県	島根県ふるさと定住・雇用情報コーナー（東京）				定	求	03 (3516) 6555	東京都中央区日本橋室町1-5-3 福島ビル1階 にほんばし島根館内
	島根県ふるさと定住・雇用情報コーナー（大阪）				定	求	0120 (70) 2357	大阪市北区西天満3-13-18 島根ビル2階 島根県大阪事務所内
	島根県ふるさと定住・雇用情報コーナー（広島）	農	林	漁	定	求	082 (541) 2410	広島市中区立町1-23 ごうぎん広島ビル3階 島根県広島事務所内
広島県	東京ふるさと就職情報コーナー					求	03 (3580) 0851	東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー 22階 広島県東京事務所内
	大阪ふるさと就職情報コーナー					求	06 (6345) 5821	大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8階 広島県大阪情報センター内
山口県	ふるさと山口・東京Uターン相談コーナー	農	林	漁	定	求	03 (3231) 1863	東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル1階 おいでませ山口館内
	ふるさと山口・大阪Uターン相談コーナー	農	林	漁	定	求	06 (6341) 0755	大阪市北区梅田2-4-13 阪神産経桜橋ビル2階 山口県大阪事務所内
徳島県	徳島県Uターンコーナー（東京）	農				求	03 (5212) 9024	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館14階 徳島県東京事務所内
	徳島県Uターンコーナー（大阪）	農	林				06 (6251) 3273	大阪市中央区南船場3-9-10 徳島ビル4階 徳島県大阪事務所内
香川県	香川県東京人材Uターン・コーナー	農				求	03 (5212) 9100	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館9階 香川県東京事務所内
	香川県大阪人材Uターン・コーナー	農			定		06 (6281) 1661	大阪市中央区東心斎橋1-18-24 クロスシティ心斎橋4階
愛媛県	Uターン情報コーナー					求	03 (5212) 9071	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館11階 愛媛県東京事務所内
	愛媛県大阪事務所					求	06 (6441) 2829	大阪市西区江戸堀1-9-1 肥後橋センタービル1階
高知県	高知県東京事務所				定	求	03 (3501) 5541	東京都千代田区内幸町1-3-3 内幸町ダイヤビル7階
	高知県大阪事務所				定		06 (6244) 4351	大阪市中央区本町2-6-8 センバセントラルビル1階
佐賀県	佐賀県首都圏営業本部				定		03 (5212) 9073	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館11階
	佐賀県関西・中京営業本部	農				求	06 (6344) 8031	大阪市北区梅田1-3-1-900 大阪駅前第1ビル9階
長崎県	長崎県東京事務所					求	03 (5212) 9025	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館14階
	長崎県大阪事務所					求	06 (6341) 0012	大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8階
熊本県	くまもとUターン情報コーナー	農	林	漁	定	求	03 (3572) 5022	東京都中央区銀座5-3-16 銀座熊本館3階
	熊本県大阪事務所	農					06 (6344) 3883	大阪市北区梅田1-1-3-2100 大阪駅前第3ビル21階
大分県	おおいた情報館 Uターンコーナー	農	林	漁	定	求	03 (6228) 8770	東京都中央区銀座2-2-2 新西銀座ビル8階
	大分県大阪事務所	農	林	漁	定	求	06 (6345) 0071	大阪市北区梅田1-1-3-2100 大阪駅前第3ビル21階
	大分県福岡事務所	農	林	漁	定	求	092 (721) 0041	福岡市中央区天神2-14-8 福岡天神センタービル10階
宮崎県	ふるさと宮崎就職相談窓口（東京）	農	林	漁	定	求	03 (5212) 9007	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館15階 宮崎県東京事務所内
	ふるさと宮崎就職相談窓口（大阪）	農			定	求	06 (6345) 7631	大阪市北区梅田1-3-1-900 大阪駅前第1ビル9階 宮崎県大阪事務所内
鹿児島県	鹿児島県新規就農東京相談所	農	林				03 (3506) 9177	東京都千代田区有楽町1-6-4 千代田ビル9階 かがしき遊楽館内
	ふるさと人材相談室（東京）				定	求	03 (3506) 9177	東京都千代田区有楽町1-6-4 千代田ビル9階 かがしき遊楽館内
	鹿児島県新規就農大阪相談所	農					06 (6341) 5618	大阪市北区梅田1-3-1-900 大阪駅前第1ビル9階11号 鹿児島県大阪事務所内
	鹿児島県ふるさと人材相談室大阪事務所				定	求	06 (6341) 5618	大阪市北区梅田1-3-1-900 大阪駅前第1ビル9階11号 鹿児島県大阪事務所内
	鹿児島県新規就農福岡相談所	農					092 (441) 2852	福岡市博多区博多駅中央街8-36 博多ビル8階 鹿児島県福岡事務所内

●新規就業希望者の相談窓口

全国新規就農相談センター
〒102-0084 東京都千代田区二番町9-8
中央労働基準協会ビル2階 全国農業会議所内
TEL. 03 (6910) 1133 (相談用)
<http://www.nca.or.jp/Be-farmer/>

都道府県新規就農相談センター

都道府県青年農業者等育成センター	電話番号	都道府県農業会議	電話番号
(公財) 北海道農業公社 北海道農業担い手育成センター	057 (044) 055	北海道農業会議	011 (281) 6761 (直)
(公社) あおもり農林業支援センター	017 (773) 3131	青森県農業会議	017 (774) 8580 (直)
(公社) 岩手県農業公社	019 (623) 9390	岩手県農業会議	019 (626) 8545 (直)
(社) 宮城県農業公社	022 (275) 9192	宮城県農業会議	022 (275) 9164 (直)
(社) 秋田県農業公社	018 (893) 6212	秋田県農業会議	018 (860) 3540 (直)
(公財) やまがた農業支援センター	023 (641) 1117	山形県農業会議	023 (622) 8716 (直)
(財) 福島県農業振興公社	024 (521) 9848	福島県農業会議	024 (524) 1201 (直)
(公財) 茨城県農林振興公社	029 (239) 7131	茨城県農業会議	029 (301) 1236 (直)
(公財) 栃木県農業振興公社	028 (648) 9511	栃木県農業会議	028 (648) 7270 (直)
(公財) 群馬県農業公社	027 (251) 1220	群馬県農業会議	027 (280) 6171 (直)
(社) 埼玉県農林公社	048 (558) 3555	埼玉県農業会議	048 (829) 3481 (直)
(公財) 千葉県水産振興公社	043 (222) 9136	千葉県農業会議	043 (222) 1703 (直)
(公財) 東京都農林水産振興財団	042 (528) 1357	東京都農業会議	033 (370) 7145 (直)
神奈川県農業技術センターかながわ農業アカデミー ※1	046 (238) 5274	神奈川県農業会議	045 (201) 0895 (直)
(財) 山梨県農業振興公社	055 (223) 5747	山梨県農業会議	055 (228) 6811 (直)
(社) 岐阜県農畜産公社	058 (276) 4601	岐阜県農業会議	058 (268) 2527 (直)
(社) 静岡県農業振興公社	054 (250) 8991	静岡県農業会議	054 (255) 7934 (直)
(公財) 愛知県農業振興基金	052 (951) 3626	愛知県農業会議	052 (962) 2841 (直)
(公財) 三重県農林水産支援センター	059 (848) 1226	三重県農業会議	059 (213) 2022 (代)
(社) 新潟県農林公社	025 (281) 3480	新潟県農業会議	025 (223) 2186 (直)
(公社) 富山県農林水産公社	076 (441) 7396	富山県農業会議	076 (441) 8961 (直)
(財) いしかわ農業人材機構	076 (225) 7621	石川県農業会議	076 (257) 7066 (直)
(社) ふくい農林水産支援センター	077 (621) 5475	福井県農業会議	077 (621) 8234 (直)
(社) 長野県農業担い手育成基金	026 (231) 6222	長野県農業会議	026 (234) 6871 (直)
(公財) 滋賀県農林漁業担い手育成基金	077 (523) 5505	滋賀県農業会議	077 (523) 2439 (直)
(公社) 京都府農業総合支援センター	075 (417) 6847	京都府農業会議	075 (441) 3660 (直)
大阪府都市農業参入サポート窓口※1	066 (210) 9596	大阪府農業会議	066 (941) 2701 (直)
(社) 兵庫みどり公社	078 (361) 8114	兵庫県農業会議 (ひょうご就農支援センター)	078 (391) 1222 (直)
(財) 奈良県農業振興公社	074 (223) 6148	奈良県農業会議	074 (222) 1101 (代)
(財) 和歌山県農業公社	073 (433) 5547	和歌山県農業会議	073 (428) 4165 (直)
(財) 鳥取県農業農村担い手育成機構	085 (726) 8350	鳥取県農業会議	085 (726) 8371 (直)
(公財) しまね農業振興公社	085 (220) 2872	島根県農業会議	085 (222) 4471 (直)
(財) 岡山県農林漁業担い手育成財団	086 (226) 7423	岡山県農業会議	086 (234) 1093 (直)
広島県農業経営課相談窓口 ※1	082 (224) 0129 ※2	広島県農業会議	082 (545) 4146 (直)
(財) やまぐち農林振興公社	083 (924) 8900	山口県農業会議	083 (923) 2102 (直)
(財) 徳島県農業開発公社	088 (621) 3083	徳島県農業会議	088 (678) 5611 (直)
(財) 香川県農業振興公社	087 (831) 3211	香川県農業会議	087 (812) 0810 (直)
(財) えひめ農林漁業担い手育成公社	089 (945) 1542	愛媛県農業会議	089 (921) 4438 (直)
(公財) 高知県農業公社	088 (823) 8618	高知県農業会議	088 (824) 8555 (直)
(公財) 福岡県農業振興推進機構	092 (716) 8355	福岡県農業会議	092 (711) 5070 (直)
(財) 佐賀県青年農業者育成センター	095 (225) 7106	佐賀県農業会議	095 (223) 7057 (直)
(財) 長崎県農林水産業担い手育成基金	095 (725) 0031	長崎県農業会議	095 (822) 9647 (直)
(公財) 熊本県農業公社	096 (385) 2679	熊本県農業会議	096 (384) 3333 (直)
(公社) 大分県農業農村振興公社	097 (535) 0400	大分県農業会議	097 (532) 4385 (直)
(公社) 宮崎県農業振興公社	098 (551) 2631	宮崎県農業会議	098 (573) 9211 (直)
(公社) 鹿児島県農業・農村振興協会	099 (213) 7223	鹿児島県農業会議	099 (286) 5815 (直)
(財) 沖縄県農業開発公社	098 (882) 6801	沖縄県農業会議	098 (889) 6027 (直)

※1 指定法人ではありませんが、就農相談を行っています。※2 火、水、木曜日10:30～16:00



●新規就業希望者の相談窓口

林業労働力確保支援全国センター
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-1-12
コービル全国森林組合連合会内
TEL : 03 (3294) 9713
<http://www.nw-mori.or.jp/>

●地域の林業について情報を集める

都道府県	都道府県林業労働力確保支援センター等	電話番号
北海道	(一社) 北海道造林協会	011 (200) 1381
青森県	(公社) あおもり農林業支援センター	017 (732) 5288
岩手県	(公財) 岩手県林業労働対策基金	019 (653) 0306
宮城県	(財) みやぎ林業活性化基金	022 (217) 4307
秋田県	(公財) 秋田県林業労働対策基金	018 (864) 0161
山形県	(財) 山形県みどり推進機構	023 (688) 6633
福島県	(社) 福島県森林・林業・緑化協会	024 (521) 3245
茨城県	(社) 茨城県林業協会	029 (225) 5949
栃木県	(公社) とちぎ環境・みどり推進機構	028 (624) 3710
群馬県	(財) 群馬県森林・緑整備基金	027 (212) 6295
埼玉県	(社) 埼玉県農林公社	0494 (25) 0291
千葉県	(公社) 千葉県緑化推進委員会	0438 (60) 1521
東京都	(公財) 東京都農林水産振興財団	042 (528) 0643
新潟県	(社) 新潟県農林公社	025 (285) 7711
富山県	(公社) 富山県農林水産公社	076 (441) 6747
石川県	(財) 石川県林業労働対策基金	076 (237) 0121
福井県	(公財) 福井県林業従事者確保育成基金	0776 (38) 0345
山梨県	(財) 山梨県林業公社	055 (242) 6667
長野県	(財) 長野県林業労働財団	026 (225) 6080
岐阜県	(社) 岐阜県森林公社	057 (533) 4011
静岡県	(公社) 静岡県山林協会	054 (255) 4485
愛知県	(公財) 愛知県林業振興基金	052 (953) 3608
三重県	(公財) 三重県農林水産支援センター	0598 (48) 1226
滋賀県	(社) 滋賀県造林公社	077 (522) 8349
京都府	(財) 京都府林業労働支援センター	075 (821) 9277
大阪府	(社) 大阪府木材連合会	06 (6538) 7524
兵庫県	(財) 兵庫県営林緑化労働基金	078 (361) 8010
奈良県	(財) 奈良県林業基金	0742 (27) 4860
和歌山県	(社) わかやま森林と緑の公社	0739 (83) 2022
鳥取県	(財) 鳥取県林業担い手育成財団	0857 (28) 0123
島根県	(社) 島根県林業公社	0852 (32) 0253
岡山県	(財) 岡山県林業振興基金	086 (225) 9382
広島県	(財) 広島県農林振興センター	082 (541) 6187
山口県	(一財) やまぐち森林担い手財団	083 (932) 5286
徳島県	(財) 徳島県林業労働力確保支援センター	088 (622) 8158
香川県	(一財) 香川県森林林業協会	087 (861) 4353
愛媛県	(財) えひめ農林漁業担い手育成公社	089 (934) 6153
高知県	(財) 高知県山村林業振興基金	0887 (57) 0366
福岡県	(公財) 福岡県水源の森基金	092 (732) 5450
佐賀県	(財) 佐賀県森林整備担い手育成基金	0952 (25) 7133
長崎県	(社) 長崎県林業協会	0957 (25) 0184
熊本県	(公財) 熊本県林業従事者育成基金	096 (340) 1151
大分県	(公財) 森林ネットおおいた	097 (546) 3009
宮崎県	(公社) 宮崎県林業労働機械化センター	0985 (29) 6008
鹿児島県	(財) 鹿児島県林業担い手育成基金	0995 (54) 3131
沖縄県	(社) 沖縄県林業協会	098 (888) 0677



●新規就業希望者の相談窓口

一般社団法人 全国漁業就業者確保育成センター
〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13
三会堂ビル
TEL : 03 (5545) 1617
<http://www.ryoushi.jp/>

●沖合・遠洋漁業

全国漁業就業者確保育成センター	03 (5545) 1617
-----------------	----------------

●沿岸漁業

地域	都道府県・漁業就業者確保育成センター	電話番号
北海道	北海道漁業就業支援協議会	011 (271) 5051
東北	秋田県漁業協同組合	018 (845) 1311
	山形県漁業協同組合	023 (424) 5612
関東	千葉県地域漁業担い手確保・育成支援協議会	043 (242) 6858
	東京都漁業協同組合連合会	03 (3458) 4161
	神奈川県漁業協同組合連合会	045 (773) 6777
北陸	新潟県漁業協同組合連合会	025 (243) 3681
	富山県地域漁業担い手確保・育成支援協議会	076 (431) 9595
	石川県漁業協同組合	076 (234) 8818
	福井県漁業協同組合連合会	077 (624) 1203
中部	静岡県漁業協同組合連合会	054 (254) 6011
	愛知県漁業担い手確保育成支援協議会	052 (971) 3501
	三重県漁業協同組合連合会	059 (228) 1205
近畿	京都府漁業協同組合連合会	077 (377) 2202
	和歌山県漁業協同組合連合会	073 (431) 5101
中国	鳥取県漁業協同組合	085 (728) 0111
	漁業協同組合 JF しまね	085 (221) 0001
	島根県漁業担い手確保・育成支援協議会	085 (142) 1832
	広島県漁業協同組合連合会	082 (278) 5588
	山口県漁業協同組合	083 (231) 2212
四国	徳島県漁業協同組合連合会	088 (636) 0513
	香川県漁業協同組合連合会	087 (825) 0351
	えひめ漁業担い手確保促進協議会	089 (933) 5127
	高知県漁業協同組合	088 (854) 3600
九州	福岡県漁業協同組合連合会	092 (713) 1162
	長崎県漁業協同組合連合会	095 (829) 2413
	大分県漁業協同組合	097 (532) 6611
	鹿児島県漁業協同組合連合会	099 (253) 7811

情報収集と相談がはじめの一步! 就農に近づく新・農業人フェア。

問い合わせ

全国新規就農相談センター(全国農業会議所)
03(6910)1133(平日10時~17時)
詳しくは、裏表紙をご覧ください。

新・農業人フェア

検索

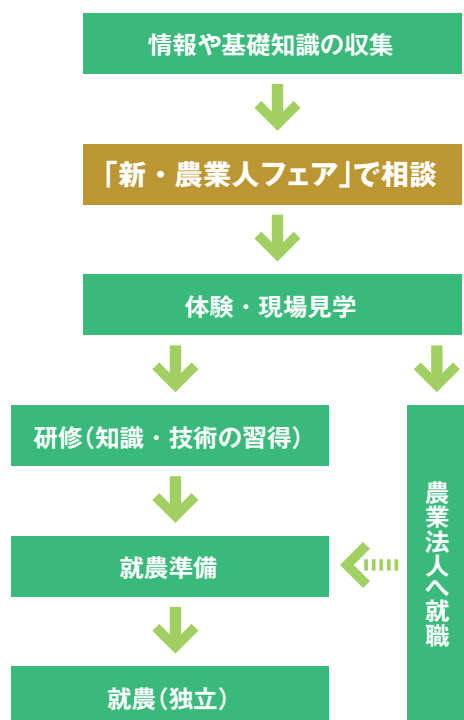


農業に就きたい人! 農業に興味がある人! ぜひ「新・農業人フェア」に行ってみよう。全国新規就農相談センターが主催するこのイベント、年間を通じ、東京・大阪・札幌・名古屋・仙台で開催されている。

会場には、ベテラン相談員が就農全般の質問に応じる「何でも相談コーナー」や、都道府県や市町村ごとの就農や移住の相談に応じる「新規就農相談コーナー」、意欲ある人材を求める「農業法人等の合同会社説明会コーナー」のほか、学校のブース、有機農業相談、畜産への就業相談コーナーなどがあり、目的に応じて相談や情報収集が可能だ。

さらに、セミナー会場では、農業を仕事にするためのガイダンスや先輩新規就農者の体験報告が行われ、就職までの経緯やアドバイスなど貴重な生の声を聞くことができる。

就農への道すじ



フェアに行く前に! これだけは考えておこう

新・農業人フェアに行く前に、実現したい農業のビジョンを大まかに考えておこう。就農といっても、「どのように働くか」「どの土地を選ぶか」「どの作目にするか」「有機農業をやるか」などさまざまな選択肢があり、それによって必要な資金や取得技術が異なる。会場でより有益な情報を得たり具体的な相談にのってもらうためにも、事前に自分がどのような農業をしたいのかイメージしておこう。

就農スタイルは?

農業法人に就職する
独立して新規就農する
既存の経営を継承する

場所は?

新しい土地に移住する
地元で就農する

経営作目は?

稲作/野菜/果樹/
花き/酪農/畜産

栽培スタイルは?

有機/無農薬/慣行※

※慣行農業…農薬や化学肥料を使う農業の方法

新規就農相談コーナー

自治体の就農相談窓口や学校などのブースが並ぶ。自治体の窓口では、都道府県や市町村の助成や研修制度に関する情報



が得られる。就農準備校や農業大学校などの学校ブースでは、教育カリキュラムや、卒業生の就農状況などを知ることができる

農業法人等の合同会社説明会コーナー

大規模経営の農業法人から家族経営の個人農家まで日本全国から、さまざまな農業法人が集まる。求人募集している法人では、具体的な業務内容や入社後の生活などの話を聞くことができる。独立就農のための研修制度を設けている法人も



その他のコーナー

農業法人で就業体験ができる「農業インターンシップ」のブースでは、受入可能な法人を紹介してもらえらる。「求人情報コーナー」では、全国の求人情報が閲覧可能だ。「DVDコーナー」では就農者へのインタビューや畜産業界の紹介映像を見ることができる



何でも相談コーナー

専門の相談員が就農に関する相談に乗ってくれる。「農業ってどんな仕事？」といった基本的な質問の解説から、年齢や移住希望先などの個々の状況にあわせた詳細なアドバイスまで、幅広く対応してくれる。人気があるブースなので、事前に「あぐなび」を使って予約しよう

※あぐなび…全国新規就農相談センターが運営する会員サイト



セミナー会場

全国新規就農相談センターの所長による農業に関する基本講座のほか、農業法人に就職した人や独立して農業を始めた先輩たちの生の声が聞ける。就農までの過程や苦労したエピソードなどのリアルな話は聞く価値あり。講演後には質疑応答の時間もあるので、気になったことは質問してみよう



**セミナーでは
青年就農給付金の
説明が聞けます!**

青年就農給付金の主な内容

	準備型	経営開始型
支援内容	原則 45 歳未満で就農する者に対し、研修期間中に年間 150 万円を最長 2 年間給付	原則 45 歳未満の独立・自営就農者に対し、年間 150 万円を最長 5 年間給付
交付要件	都道府県が認める研修機関・先進農家などで、おおむね 1 年以上研修する、など	人・農地プラン（被災地は経営再開マスタープラン）に位置づけられていること（見込み含む）など
留意点	研修終了後 1 年以上に就農しなかった場合や、給付期間の 1.5 倍（最低 2 年）以上農業を継続しない場合などは返還	市町村が適切に就農をしていないと判断した場合や、給付金を除いた本人の前年の所得の合計が 250 万円を超えた場合は給付停止

ただし、いずれも生活保護など生活費を支給する国の他事業との重複受給はできない。また「準備型」は、研修終了後 1 年以内に就農しないときは返還対象になり、「経営開始型」は、給付金を除く前年の所得合計が 250 万円を超えると給付停止になるなどの条件がある。

原則 45 歳未満の就農前後の青年を対象にした「青年就農給付金」が 2012 年 4 月からスタートした。受給により、研修に専念したり独立就農の経営リスクを減らすことができる。青年就農給付金には「準備型」と「経営開始型」の 2 種類があり、「準備型」は認定された研修機関や農家で研修をする場合に、1 年につき 150 万円を最長 2 年間受給できる。「経営開始型」は、独立・自営就農者が、年間 150 万円の給付を最長 5 年間受けられるというもの。親元で就農した場合も 5 年以内に経営継承するか独立部門での経営であれば、その時点から対象となる。

**活用しよう！
青年就農給付金**

新・農業人 フェア

2012

入場無料

かつこよくて、感動的で、稼げる
「農業」を探そう。

農業法人の合同会社説明会
独立就農のための相談会
新規就農セミナー

入退場
自由

服装
自由

履歴書
不要

ご家族・友人
同伴歓迎

農業が体験できる「農業インターンシップ」も紹介

開催
日程

東京 2012年6月23日(土)・10月20日(土)

2013年1月19日(土)

10:30~16:00

池袋サンシャイン ワールドインポートマート

2012年8月25日(土)

農業法人 合同会社
説明会のみ開催

10:30~16:00

東京都立産業貿易センター 浜松町館

大阪 2012年7月 7日(土)

2013年2月16日(土)

10:30~16:00

梅田スカイビル タワーウエスト10階 アウラホール

愛知 2012年8月 4日(土)

10:30~16:00

愛知県産業労働センター
名古屋市ウイंकあいち

宮城 2012年9月 2日(日)

10:30~16:00

仙台市イベントホール松栄

北海道 2012年11月17日(土)

10:30~16:00

札幌コンベンションセンター

新規就農総合支援制度
もご案内します。

原則45歳未満の新規就農者に対し、年間150万円を最長7年間助成する「青年就農給付金」などの各種支援制度をご紹介します。詳しくは「新・農業人フェア」で。

お問い合わせ

Be Farmer

きっと見つかる あなたの農業

全国新規就農相談センター

〒102-0084 東京都千代田区二番町 9-8 中央労働基準協会ビル 2F TEL.03-6910-1133

<http://www.nca.or.jp/Be-farmer/>



新・農業人フェア

検索

■主催：全国農業会議所・全国新規就農相談センター・
(公社)日本農業法人協会・研修農場ネットワーク

■後援：農林水産省・厚生労働省